

第六期 第三十回 np.広告学校 講義録

【小霜クラス いじめ防止ポスター】③

(注・受講生の表現案に使用されている画像は基本的にネット上のフリーのものや自分たちで撮影したのですが、もし肖像権などで問題あるものがございましたら contact@noprobem.co.jp までご連絡ください。)

◆日時

2014年2月24日

◆出席者

で？、コゲ太、食い丸、おにぎり、ピロリ、花火、滑舌

小学生、世界の野糞、ホへ～、シカシカ、ネチ・ネチ郎

生徒12名(女性7名男性5名)

+小霜・付き人(np.)・インターン

小霜：(娘さんにむかって)

ポスターの目的はいじめの数を減らす。そのために寄与するポスターを、今から4チームが簡単に説明して、こういう風に考えたっていうことを言ってもらって、ポスター案を見せてもらうから。それでね、黙って4チームの発表を聞いてほしい。それを全部聞いたら自分の意見、感想とかを出して。それで、どれが一番いいか、一つ選ぶとしたらどれがいいか。

小霜の娘さん：あー。

小霜：中学生の立場でどれが一番効きそうかな、っていうのを選んでね。コレはったらいじめ減るかも。というもの。それでドリームデザインの石川さんって方が一万円分の商品券を学校で使ってくれていたので。

小霜の娘さん：おおおお！

小霜：勝ったチームがこの商品券をもらえる。

小霜の娘さん：え、どうしょー！え、一万円？

小霜：いやいや、お前がもらえるわけじゃないんだよ、この一万円。

小霜の娘さん：いやいやいや。一万円でしょ？うーん。

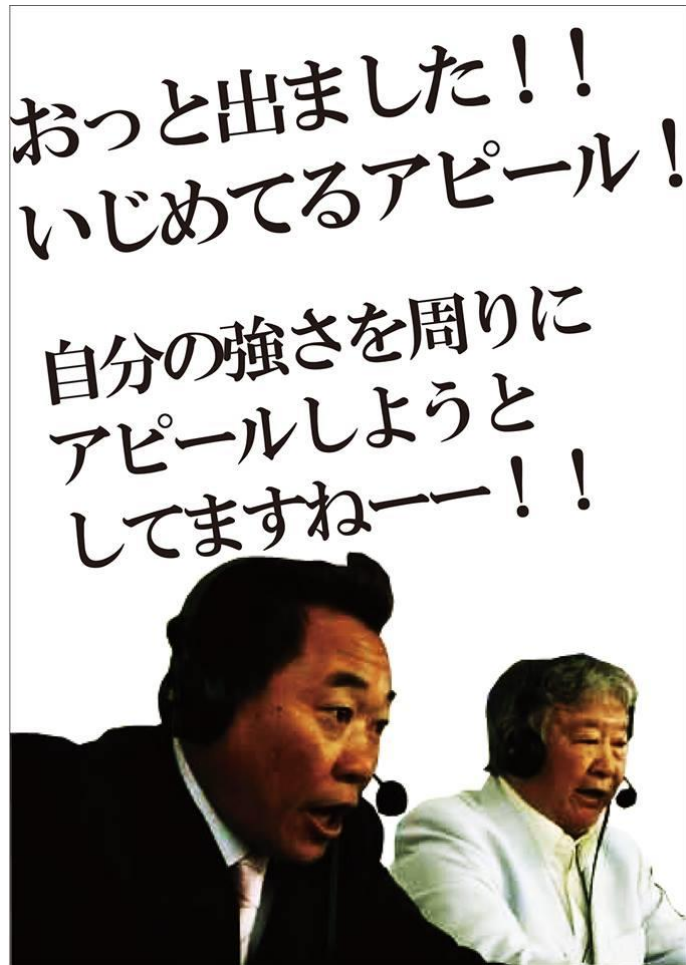
小霜：ということで、はじめますかね。じゃあ、順番は決めたのかな？

世界の野糞：じゃんけんで決めますか。勝ったところから時計回りね。

(じゃんけん)

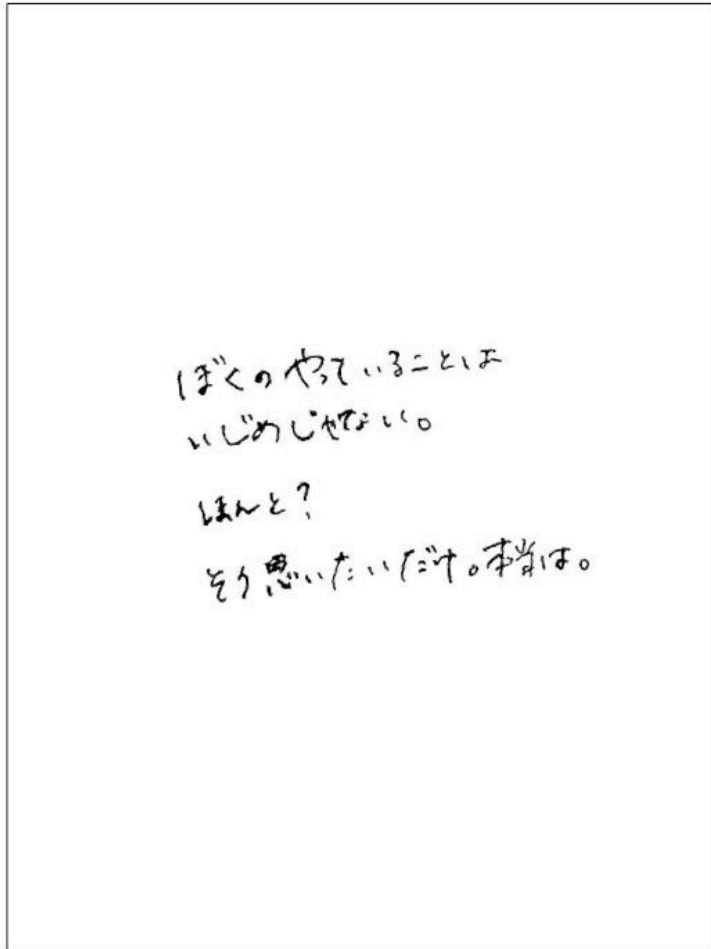
【世界の野糞チームプレゼン】

世界の野糞：二つ持ってきました。一つはこういう考え方です。



いじめをしていることって周りに対して、俺は強いんだぞー！って周りにアピールしている事なのかなって。そういったことを周りの人に共通で思ってもらえれば、いじめをしている人は恥ずかしいって思うんじゃないか。それをアイデアにしたのが、これ。

「おっと出ました」サッカーの実況みたいな。



もう一つは、教室に張られている。「僕がやっていることはいじめじゃない。本当？ そう思いたいだけ、本当は」

いじめをしている人って「これはいじめじゃない」って思ってやってると思うんだけど、「そうじゃないよ」ってことを言いたい。

本当はあなたがやっていることは、いじめなんだって言ってあげる。

そう言ったら「そうかもな」って思ってもらえるかもしれない。これが B 案です。この二つで、以上です。

【ホへ〜チームプレゼン】

ホへ〜：はい、僕らの番です。考え方は届ける相手はいじめっこ。いじめっ子が考えていることとしては、自分たちはニュースになっているようなひどいことになっているようないじめじゃない。自分たちがやっていることとニュースのいじめは離れていると思っているんじゃないか、と。ニュースになっているようないじめも、小さなことから始まっていることを言いたい。

小霜：娘はターゲットインサイトって何の事かわからないから、説明してあげてくれない。

ホへ〜：ターゲットインサイトとは何か…このポスターを伝える相手がターゲットで、そのターゲットの人が自分たちの本音としてどう思っているのかというのをインサイトと定義しています。で、自分たちが作ったポスターはこれです。

僕は、消しゴムを投げただけです。



軽いイタズラが、重い罪になるかもしれない。

東京教育委員会

「僕は、ただ消しゴムを投げただけです」

下には「軽いイタズラが、重い罪になるかもしれない」

伝えたい事は消しゴムを投げるって軽いことをやっているつもりかもしれないけど、投げられている人にとっては刃物、凶器を投げられていることぐらい辛い事だよね、ってことです。

【滑舌チームプレゼン】

滑舌： 私たちもターゲットはさっきのグループと同じで、誰かをいじめている中高生と決めました。同じように、ターゲットが思っている本音としてはクラスの中での自分の立ち位置が不安で、誰かをいじめることによって自分の立ち位置を上げるとか守りたいって思っている人。そういうことを思っている人に対するプロポジションは「そのうちあなたが嫌われます」ってことを言いたいです。

クリエイティブ案はこうなりました。



こうした理由は、いじめをおさえるためには、ターゲットをいじめをしている人において、更に自殺に追い込むほどのいじめじゃなくて、いじめが始まった初期段階でポイントを絞ったほうがいじめはなくなるんじゃないかと思って。いじめの初期段階でターゲットに見てほしいと思って設定しました。

変なあだ名をつけたり、仲間はずれ、無視というのがあろうと考えたんですけど、男子と女子でいじめの性質って違うなー、って自分の経験からも思ったんです。インターネットの掲示板とか見ても思ったので、男子は肉体的ないじめが多くて、女子は精神的ないじめが多いんじゃないかと思ったので。

「いじり男子と陰口ねちねち女子」っていう風に変なネーミングをすることで、いじめをしている人の当事者意識がださいことというか、いじめをしている自分って嫌な自分だなって思わせたくてこんなネーミングになりました。以上です。

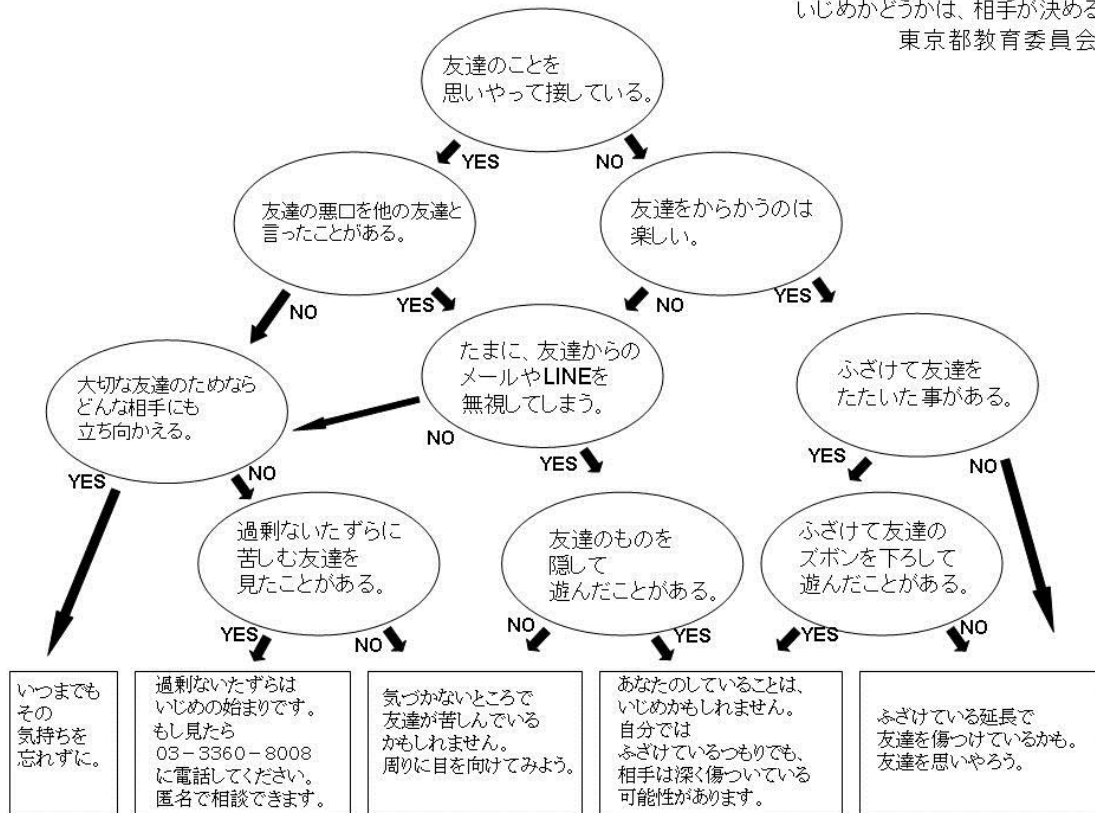
【ネチ・ネチ郎チームプレゼン】

ネチネチ郎：ターゲットはいじめっ子の中学生。で、そんな中学生が何を考えているかという日常的に対人関係、友達関係、お父さんお母さんの関係だったり、そんな関係に欲求不満だったり、もやもやしている。すごくハッピーじゃないなって状態にいて。周りの人たちといい関係を築きたいなって思っている、というのが僕らが思った事です。

で、無理に反応を求めるんじゃないくて、いじりじゃなくていじめの可能性があるのでそういった行動っていうのを見直しませんか？って言えたらいいのかなって思いました。

食い丸：で、それを伝えるための表現案がこれです。

いじめかどうかは、相手が決める。
東京都教育委員会



Yes No で答えるチャート式になっていて、ここから「友達を思いやって行動している Yes No」って感じで進んでいく。人それぞれ自分の経験をチャートに乗って考えてもらう仕組みになっていて、例えば「友達を思いやって行動している Yes No」が Yes だとして「他の誰かの悪口を影で言った事がある」は一回はあるかなって思ったら Yes、「たまに友達のメールを」たまにあるかもしれないって思ったら Yes。「人のものを隠して遊んだことがある」あ、それもやったことあるかもしれないって Yes を選んだら、それが客観的な視点で書いてあって、あなたがやっていることはいじめかもしれませんよ、っとめくると書いてある。

自分ではふざけているだけかもしれないけど、相手は傷ついているかもしれません。相手にそれはいじめかもしれない、って気づいてもらう仕組みになっています。

全員が全員いじめている人が見ている人だけがこのポスターを見るわけではないので、その過剰ないじめを見ている人が、東京都教育委員会に電話できるように電話番号を書いてあります。匿名でかけられますよって。結局いじめは相手が決めることで、いじめられている側がいじめだと思ったらいじめなんじゃないかということを伝えます。

小霜：全部で5案ある。それで一つ一つ感想を言ってほしいんだけど。

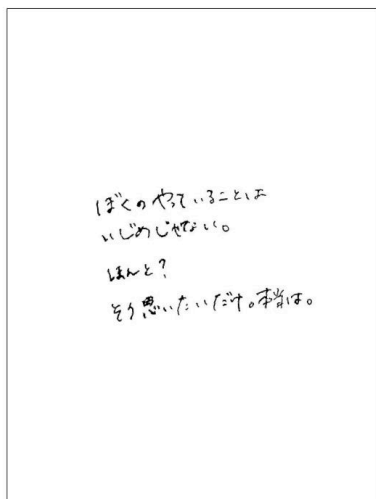
時間取る？

小霜の娘さん：いや、大丈夫。

世界の野糞チーム



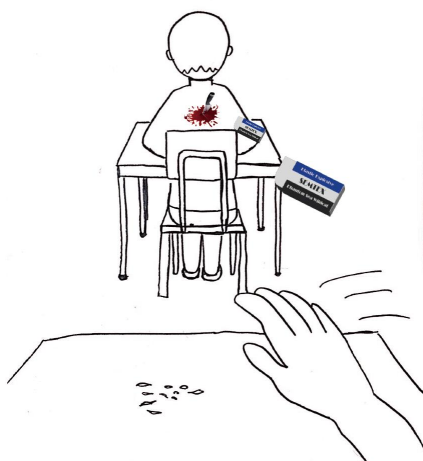
最初の案のポスターを見たときに、いじている側の学生がこれを見て思う反応より、周りがこれを見た事でいじめが起きているのかな？みたいな初期の段階のときに、恥ずかしいな、って周りが思う事で段々なくなっていくんじゃないかなって思いました。私が学生してて、いじている子だけが悪いんじゃないかと、周りも、いじている人が強いんだって思ってる。カースト制度の上位にやっちゃう空気があるんじゃないかな、って私は思ってる。でも、このポスターを見る事によって周りの空気も変わってくるんじゃないのかな？って思いました。



最初に見せてもらったポスターはいじめていることで自分を上位にあげたいといういじめが対象で、このポスターは本当はやりたくないけど自分の立場を確保するためにいじめをしている。それがちょっと楽しくなってやっている人を対象としている違いなのかなって。

ホヘ〜チーム

僕は、消しゴムを投げただけです。



軽いイタズラが、重い罪になるかもしれない。
東京教育委員会

このポスターは並べてあったときに、一番ビジュアル的に残るっていうか。正直、文字がばーって書いてあるより絵だけでばんってあるほうが掲示物がたくさんあっても目立つじゃないですか。ただ単にポスターって思うんじゃなくて印象に残るっていうんだったらこれかな。

結構ちょっとしたいじりでも相手はどう思っているかわからない、っていうのはあると思うんで。

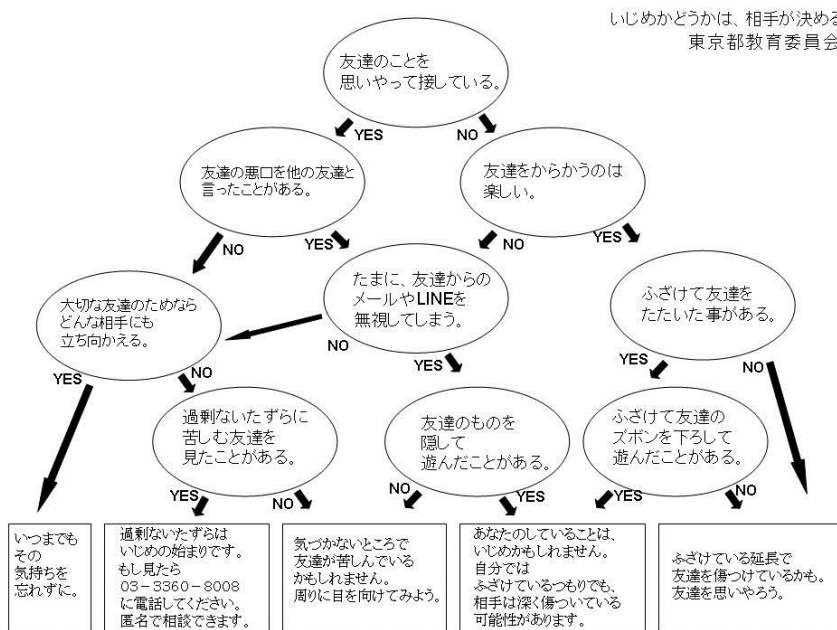
滑舌チーム



このポスターはいじり男子と陰口ねちねち女子ってどこでもいると思うんですよ。それがいじめなのかいじりなのか、それか女子の会話の中に陰口があるっていう線引きは難しいんですけど。

私の部屋にこのポスターがあったら多分女子同士で悪口言ってたら「やばい、私たち陰口ねちねち女子じゃない？」ってちょっと嫌なやつなんだなって考えると思うんで。結構写真も張ってあるんですけど、中高生とか洋楽好きなんで、日本人だすより外人のほうが見ると思うんですよ。だから、うわっ、私達これじゃんって思うと思います。

ネチ・ネチ郎チーム



このポスターは、チャートとかになっていて面白いんで、普通に休み時間にちょっとだけでもやると思うんですよ。はってあったらみんな目を通すと思うし。こういったらどうなるんだろうとか。そういうことで、全部文章読んで、なんかいじめなのかなって。友達いじめられてるの見たら、こういう番号あるんだなって。色々と文章を読むと思う。教育委員会のポスターって文字がたくさん書いてあって下にちょこっと Mascot が乗っているような。絶対誰も読まないやつなんです。だからチャート式だったら同じ文章量でも読むと思うんで、いいと思いました。

小霜：じゃあ…どれもいいところがあるってことだね。あえて自分の学校に張るならこれだ！って思うのどれだろう。

小霜の娘さん：うーん、それだったらこれかな。一番最初のやつ。

小霜：おお。これを選んだ理由ってある？

小霜の娘さん：全部共通して言えるんだけどポスターっていじている側に向けたポスターしか見た事がないんです。でも本当はいじている人だけが悪いんじゃないかって、その人が強いんだって周りの人がしちゃうその空気がいけないと思うんですよ。だからいじめはだめだよってストレートに伝えるより、サッカーの実況の真似する人っているじゃないですか。そういうノリで伝えれば、ちょっといじてる空気ってやだなあ、って周りも思っているだろうし、やっぱ恥ずかしいことなんだなって周りが思えて、場所の空気全体が変わるのはこれかな？って思った。なので私は一番最初が好きです。

世界の野糞チーム一同：わー！ありがとうございます。

小霜：じゃあ、贈呈してください。

小霜の娘さん：えええ。はい。

(拍手)

小霜：見事コンペを勝ち抜きました。

世界の野糞：久しぶりにこんなに緊張しました。笑

小霜の娘さん：すみません、偉そうに。

小霜：いやいや、言ってる事は的を射てると思うんだよね。

世界の野糞：普通のクライアントよりコメントがよっぽど芯を着いててすごいなと思いました。

おにぎり：私もすごい納得しました。

小霜：全体的に前回よりもよくなってるのは、具体的になってるよね。これはやっちゃだめだよ、これをやるとこうなるよって。いじめよくないよって言っても、いじめって抽象語じゃない。どこからどこまでがいじめなの？って言い逃れできちゃう。抽象的にこれやっちゃだめ、とかって刺さらないと思うんだよ。具体化することで刺さるようになったかなって思う。

小霜：まずこの課題で大事なことは、仮説をどう立てるのか。いじめをなくしたり減らしたりすることはできていなくて失敗してるんだよね。ってことは新しい仮説が必要な訳だよね。それがうまくいったら、定説になるわけだよね。それをやるという。結果は置いといて、そのプロセスが大事っていう課題だったと思う。

大切だと思ったのは「具体性」と「空気を壊す事」

僕が大事に思ったのは二つあって、一つは「具体」。ふわっとしているんじゃなくて、これをやっちゃいけないとわかりやすくしてあげること。もう一つはさっき空気って言ってたけど、いじめを生んだり許しちゃうのは学校ならではの「空気」だと思うの。

例えば自動車運転の学校はいじめがない。それはそういう空気がないから。例えばいじめっ子もスーパーにいったいじめするかって言ったらしない訳で。例えば正しいかわからないけど、『永遠の0』っていう映画があるけど。国のために死にます！って生み出したのは日本全体のそのときの空気なんだよ。国の為に死ねないなんて、お前意気地なしだ。ってなっちゃうわけよ。誰かがタイムマシーンに乗って、「いやいや、国のために命落とすなんておかしいよ。普通逆でしょ」って言っても確かにな、とはならない。何言ってるんだと、自分の命を優先するなんて日本男児じゃないよってきつと言うんだよ。ナチスの迫害もそういう空気があったから。だって、ユダヤ人ってドイツ中が貧乏して苦しんでるときに儲けて、そんな奴らは許せん！迫害されて当たり前だ！ってそれは空気だよね。

でね、その空気をどう壊すかって話。いじめっ子じゃなくて傍観者がいじめをする人ってかっこわるいよねって空気を作る。それが「外圧」。

特攻隊で死ぬの当たり前だよね。と学校とか軍人がいったわけだけど、それががらっと変わったわけだよね。みんなそんなこと言い出さなくなった。だって民主主義って言ったのは進駐軍。そいつらが一気に空気を変えたわけだよね。

学校っていう閉鎖された空間、教員含んだその空間に外圧が入ってくること。

大学時代、僕駒場寮っていうとこにいたんだけど、寮の役員をやった。で、駒場寮に過激派が来るぞって言われたわけよ。で、そのときどうするんですかって聞いたら、いや耐えるしかないよ。殴られたら殴られるの我慢するしかないよって。言われて。僕、ええって思わず言っちゃってさ。

警察呼んだらいいんじゃないかって言ったら、そうはいかないって。大学の自治があるんだからって。いやでもさ、大学の自治とか、それ何？と。

大学ほど自由じゃないけど、小学校中学校もそういった自治的なものがあるって。そういった空気も含めて変えるのがいじめを止める方法だと思うの。

で僕が考えた表現案がこれ。

傷つけられたら。

盗まれたら。

ネットで悪口を書かれたら。

すぐ

警察に連絡

すること。



03-3580-4970

(ヤング・テレホン・コーナー)

東京都教育委員会

警視庁少年相談室

実際にヤングテレホンコーナーっていうのがある。

親に言いなさいとか先生に言いなさいだと効かないと思うんだよ。

それは多分先生も、親も含めてそういう空気作っちゃってるから。いじめっこの親はへりくつを言う訳だよ。いじめられてる子にも問題があるんじゃないか、とかね。先生は先生で、いじめとして認識していませんなんてこと言ってさ。みんなでかばい合う、みたいな共通の何かがあると思うんだよ。そういうためには外圧を感じるのが一番強いんじゃないかな、って僕は思った。

小霜の娘さん：(首をかしげる)

小霜：と、思ったんだけどどうですか？笑

小霜の娘さん：え、私ですか？

高校生になったらわからないけど、中学生、少なくとも私の周りで警察と関わりがある人って少ないんですよ。塾の帰りが遅くなっちゃって、補導されちゃったとかならあるけど。そういうくらいなんで、警察が怖い。

小霜の娘さん：先生に言っても無理だなんていうのはあると思う。で、警察か…

小霜：先生に言っても無駄っていうのはあると思うんだよ。

小霜の娘さん：うん、それはあると思う。でも、警察にいくの怖いし、そこまでのことなのかな？って思っちゃうと思う。

自分自殺するのか？っていったらそうじゃないな、ってなってじゃあ我慢だなんてなりそう。

小霜：おまえはね、自分は自殺しないよね、ってなるかもしれないけど、そこじゃなくて。

なんでいじめを減らさないといけないかっていうと、死んじゃったりする子がいるからだよね。死ぬまでのいじめをさせない。

小霜の娘さん：自殺する人って誰にも言えずに死んじゃうんだと思う。例えば警察が軽い気持ちで相談できる相手だったら状況は変わってたと思うけど、警察が遠い存在過ぎて、自分を守ってくれる存在なんだろうなって思うけど、その確信は持てないから。それより自分を守ってくれるんだったら親、ってなるけど言いたくない。ってなってそれを通り越して警察って

なるのかな…

小霜：じゃあ警察に連絡するかしないかは置いておいてさ、周りの人からしてみても自分たちやりすぎると警察入ってくるかもしれないっていう気持ちになるかもしれないじゃない。

小霜の娘さん：いや、それはないと思う。例えばいじめてるときに、自殺の話に戻っちゃうけど、いじめてる側はあいつは自殺するまでいじめてないし。って思ってると思う。消えてほしいとかそれぐらい嫌いと思ってるけど、あいつが死ねばいいって思ってやってる人はあんまりいない。

例えば学校に実際警察がきてこういうポスターを張って自分が嫌な思いをしたら、警察に連絡してくださいって言われたら、ちょっとやめようって思うと思う。ただ、いきなり学校にはられてたら、本当に警察が言ってるのかな？って

小霜：学校に警察ってよく来るじゃない？指導のときに。そういうときにそういう話をして、これを張るってなったら？

小霜の娘さん：いじめはこれからは全て警察が関与することになったので、些細なことでも警察に言ってください！って方向に持っていくなら、なくなると思う。

小霜：いや、僕が言いたいことってそれでね。

小霜の娘さん：私、公立の学校に通っていたときはいじめがすごいあって、一年間に3クラスあったんですけど、各クラス3人ぐらいは不登校になってた。転校しちゃったり。その人たち絶対いじめられてたんですよ。でも、先生たち何も言わなかったんですよ。絶対気づいてたはずなのに。教育委員会とかに話が回ってるはずなのに、学校側もいじめを隠蔽したい。だから、それもこっち側は知っているから、学校は知っていても隠そうとするし。自殺しちゃった人もプライバシーが、とか言って守ろうとするじゃないですか。本当に些細なことでも警察に、自分とか自分の周りの外圧があったらなくなるんじゃないかなって思いました。

いじめが始まるきっかけは教室の空気で、それがエスカレートするのは先生を含んだ学校全体の空気なんじゃないかな。自殺までしちゃう原因は学校も教育委員会もいじめがあってもありませんって隠して。完全に悪い人にはならない。だから空気作りが必要なのかも。

小霜：先生からしたらね、いじめが発生すると評価が減点されちゃう。あってもなかったことにしたほうが、ずるい話だけど自分の出世にはいいわけだね。あと、校長を守ろうっていうのはあると思う。校長に恥をかかせちゃいけない、校長に怒られたくないって。そういう組織になってると思うんだ。で、もし僕が教育委員会の委員長だったらその構造を壊さないといけないうって思う。警察の相談室みたいなのはあるわけなんだから、そこに言ってくれと。今後は先生や、親に相談する必要ありません。私に相談してください。どんな些細な事も言ってください。って警察が言う。今の子どもは逃げ場がないわけだね。先生はわかってるし、親にいても親同士の綱引きになってて。ガキ大将より強い人が出てきたらなくなるんじゃないかな、っていうのが僕の仮説。何かうちの娘に質問とかあれば？

おにぎり：今、学校にこういうポスターってはられていますか？

小霜の娘さん：多分職員室前とかには、文ばかりのものはあってあると思う。でも絵とか写真でいじめはだめだよって言ってるポスターは教育委員会がやってるコンクールの作品が例としてはってあるだけだと思う。

小霜：そのコンクールの作品ってどうなの？

小霜の娘さん：いや、誰もじっくりは見ないから。

小霜：そのポスター、役に立ってる？

小霜の娘さん：いやあ。何も言われなかったら、気づかないと思う。

小霜：コンクールで入賞するようなポスターってさ。僕が思うにはきれいごとなんだよ。

小霜の娘さん：うーん、テンプレートみたいな。

(一同爆笑)

世界の野糞：パターン化してるってこと？

小霜：形だけで心に響かないものってこと？まあそうだよね。

不明：質問いいですか？これ（世界の野糞チーム案）で女の子のいじめがなくなるかなって。ていうのは、このポスターは男の子のいじめをなくすポスターなんです。男の子って自分の強さを周りにアピールしたいけど、女の子ってどうなのかなって。男目線なんですけど…

小霜の娘さん：私の今の学校って本当にいじめがなくって。みんな仲良くって。ちょっと過剰にいじられてるんじゃないかなって男の子もいるんですけど、周りがちゃんとそれ超えたいいじめでしょ？って言える空気なんです。でも他の学校でいじめない学校ってないと思うので、そこへんの空気の違いはあると思うんですけど。男子がいじめるのは強いアピール。いじめてるやつが強くて、いじめられてる奴は弱くて。発言力がある男子が強くて。で、ちょっと人前で話すのは苦手っていう子は下で力の差がある。女子は多分グループに別れててそのグループが力があるないっていうのがあって、更にそのグループの中で力があるないっていうのがあると思うんですよ。でも男子だけじゃなくて女子も面白がって、本当にいじめって関係が成り立っちゃってるところで、今更これ言われたところでどうにかなる問題じゃないと思うんですけどちょっと過剰にいじってたり、そういう段階だと周りも抑制しようっていう気持ちがあると思う。それは男子女子関係なくあると思う。女子も力関係あると思う。

小霜：他には？

おにぎり：今の話聞いて一つ聞きたいんですけど女子のグループ関係で、グループ同士のいじめってあるんですか？

小霜の娘さん：うーん。例えばクラスにアニメ好きの女子がいたんですけど、よく隅っこでかたまってるアニメの話ばかりしてるんです。所謂ギャルみたいなキャラついた子は、いじめのあった学校では「きもいよね」とか言ってたんで。同じ女子同士では似てる人たちが集まって、キャラクター別になってくるっていうのかな。が、あると思います。

おにぎり：ありがとうございます。

ホへ～：今の学校にいじめがないっておっしゃったじゃないですか。個人的に何でいじめがないと思いま

すか？こういう理由だからないのかな～って。

小霜の娘さん：空気っていうのかな。うちの学校人がすごく少なくて、更にその中でも女子が少なくて、私1組なんですけど5人しかいなくて、その隣のクラスは1人しかいないんですよ。だからまず、女子の中でねちねちした陰口があんまりないっていうのと男子とかが過剰にやっても、それを仲裁できる人がいる。普通の学校だったらやめろよって言った人がいじめられちゃうと思うんです。少人数だからみんなで仲良くしようというのが基本にあって、やめろよって言った人もそのいじめてた人と仲良くできるんですよ。あとはうちの学校ってピュアなんですよ。

(一同笑い)

なんていうのかな。みんなガキっぼいんですよ。他の学校の子と話しているより、本当にガキっぼいんですよ。だからっていうのもある。小学校のときっていじめってそんなにないじゃないですか。中高生になるときのそういうもやもやした成長がないんですよ、ピュアなんですよね。

小霜：あのさ、塾の中でいじめってあるの？

小霜の娘さん：いじめあるところはあるよ。私が行ってたところは、友達2,3人しか作らなかつたし、そういう線引きしてたから。それ私だけじゃなくて、周りのみんなも同じで塾は勉強するために来てたから。力差とかじゃなくて、ただ毎週来てる場所って割り切ってた。

小霜：そういう空気なんだよね。塾ってさ、わりかし出入り自由じゃない？ここで勉強しようって決めて、他のとこにしようかなって思ったら違うところで勉強するじゃない？で、どっちかっていうと私学もわりかし自分の意思で行くみたいなのところだったりするじゃん？でも、公立って自分の意思と違うところで決断されてるじゃない。もう、君はここに行くんだ、って固定されちゃう。

シカシカ：今は私立？

小霜の娘さん：はい、今は私立です。

シカシカ：あー。

小霜の娘さん：周りに影響力ある人がそういうこと始めちゃうとそういう空気になっちゃうけど、逆にその人がいじめっぼいことがあったときに「やめろよ」って言えたらなくなる。

付き人：確かに、それはわかる。一番力を持っている人がギャルグループにいて、そのギャルがオタクの人と仲良くしだすと、みんなオタクたちとクラスが仲良くなるっていうか。そういうのわかりません。

小霜：力を持ってるってどういうことなの？

小霜の娘さん：うーん、腕力とは違うんだけど周りに一番影響力がある人。

すごい自意識過剰なこと言うと、私どこに行ってもどこでも怖がられるんですよ。目つきが悪いし、真顔がすごい仏頂面なんで。お父さんと似ちゃったと思うんですけど…

(一同笑い)

なんか友達とかといつも笑ってたり、自分と同じクラスの人だと一ヶ月ぐらい経つと仲良くなれるんですけど。例えば前通ってた学校は3クラスあったんですけど、一緒のクラスの人はいいい人だと思うよ、って言ってくれたんですけど。違うクラスの人たちには怖がられて敬語使われてたし(笑)

塾でも近づき難い雰囲気があるらしくて。

だから私友達少ないんですけど、それもあって今の学校に来てからはじめみんな怖がっててしゃべってくれなかったんですけど、今は仲良くしてくれてて。

結構、私最初に怖いというイメージがあるんで発言力みたいなものが多分あるんですよ。

最初の学校をなんで変えたかという、いじめっぼいことであってそれでやめたんで。本当に次の学校では友達関係でごちゃごちゃするのも嫌だったし、自分も見過ごしたりよしとするのも嫌だったんで。だからいじめをやられている人、さすがにこれ傷ついてるんじゃないかなって思ったら「さすがにそれやめなよ」って言うんです。

そういう周りに影響力があって発言力があって、周りがやめろよやめろよって空気をぼ

んぼん作っていく。だからないんですよ、いじめ。

小霜：じゃあおまえがやめろよっていう役をやってることだ。

小霜の娘さん：やってるし、周りにも「嫌じゃん」って雰囲気を感じる。私が一人でなんでもできちゃうタイプで、面と向かっていっちゃう。そういうことでもみんな怖いなって思ってると思うんですよ。だから言おうかな、って。怖がられてる存在の人がやめろよっていうと、みんな怖がってやめる。

小霜：あのね、言っとくけどそれ社会に出てからもだからね。僕も知り合いは良い人だよなって言ってくるけど、僕のことあまり知らない人からは「あの怖いよね」って言われてるみたいだし。言われ続ける宿命だよ。

(一同笑い)

小霜の娘さん：ちょー、嫌だ。(笑)

小霜：はい。他に何かある？

付き人：あ、さっき小霜さんが言った、力がある人ってどういうことなのって質問なんですけど僕が中学校とかいるときに感じたのは、イケメンでスポーツ出来る人が力がある人で、男子の目線で言うと女子で力がある人は、そういう男子と付き合ってる女子。

小霜の娘さん：それはありますよね。

小霜：じゃあイケメンなんだ、そういういじめやるのって。

付き人；イケメンがそういうことし出すと、みんなそれに乗っかっちゃう。イケメンは正義ですから、嫌われないですよ。

小霜の娘さん：うちの学校でも今、いじる側の男子がいてその人と付き合ってる女子がいて、その二人がくっついた途端に調子乗っちゃったみたい。

前はあまり先生とかにも言わなかったのに、先生が書き間違えちゃっただけで、「なんで書き間違えたの」って強く言うようになって。私とか周りはそういうの嫌だね、ってなってる。

小霜：俺が中学校高校生の頃って、中学は悪はいたんだけどそういう奴らはつるんで学校に来ないのよ。つるんで学校の外で悪さして、学校に来て誰かを殴るってことはなかった。純粹な喧嘩はあったよ。でも陰湿ないじめってというのは全体的に問題になるようなことはなかったんだよね。今はどこの公立もそういうことがあって、なんでそんなに今増えたんだろう。

小霜の娘さん：私、昔の中学生やったことがないからわからないけど…不安定なんだと思う。昔は結構仲のいい友達って絶対に裏切らないっていうのがあったと思うの。昔の少年漫画とか少女漫画とか見ると親友は親友じゃないですか。

でも、今って裏で何言われてるかわからない。

その中で、唯一同じ意見を持ってるんだって確信できるのが「〇〇ちゃん嫌だよ」ってこと。私たち仲良いよね、って言っても本当は私この子好きじゃないんだよなっていうのがある。そういう中で一番結束固められるのが、同一人物が嫌いなとき。例えば私とAちゃんが仲良く、Aちゃんが「(小霜の娘さんの名)、裏切ったんだよ」ってみんなに言いふらしたらみんな私の事を嫌いになる。で、反対にAちゃんを裏切って私がみんなに言ったらAちゃんが嫌われる。絶対裏切られない関係を築きたいんですよ。

小霜：韓国とか中国とかさ「日本は悪い国だ」なんて言って国内で結束固めてるじゃない。そんな感じ？

小霜の娘さん：そんな感じじゃない？

小霜：なんで昔と比べて今って、信じることができなくなったの？

小霜の娘さん：え、何でだろう。昔はケータイがなかったから？ケータイだけじゃないけど、仲良い人だけじゃなくてクラス全体で一まとまりにならないといけませんっていう雰囲気になってて形だけでも仲良くならないといけない。もっとコミュニケーション広げないといけない。今は人と人の繋がりで、友達が世界中に何百人の世界になってて。

場面場面でちょっと嫌だなって思ったら、他の人にちょっと話したくなる。昔は面と向かってその人に言えたけど、今はその人との関係を崩すのが怖いから、他の人に言う。その人にきづかれなくて、その人の悪口が言えるようになってしまった。メールとかlineとかtwitterとかネットの掲示板とか。

小霜：そうか、その人のダークサイドがちらちら見えちゃうってことか。それを共有して話を膨らましちゃうから。

小霜の娘さん：例えば私がお父さんと友達だったとして、お父さんが一階まで人に物を取りに行かせるのが人使い荒いよねって思ったとして、それを私はお父さんに言えるからいいけど、他の人にあの人って人使い荒いよねっていうと悪口になるかもしれない。言っても関係が保たれたらいいけど、その子が言われた事で自分から離れちゃうのが嫌だ。だから陰口言うしかなくなる。

小霜：メールとかtwitterとかって前後の文脈がなくなっちゃうじゃない。例えば人使い荒いって言っても、俺は足が悪いから何か物を取りに行くことが難しいんで人を雇ってるわけよ。それを知らないで見たら、何だあの人人使い荒いな、人間性どうなのってなるかもしれない。

小霜の娘さん：要約すると人使いが荒かったんだ、ってなっちゃう。それが広がって広がって。

小霜：この間、森元総理があの子（浅田真央）は大事なときに転ぶって言うようなこと言ったけど、それ彼女に文句を言ってるわけじゃなくて、なんで転ぶかっていうと使い方が間違ってるからで、可哀想じゃないかってJOCを責めてるわけ。でもそこを全部削ぎ落とされて「あの子は大事なときに転ぶ」っていう一行だけがぼんと出てくるみたいな。ネット社会ってそういうのあるよね。そうすると不信感が蔓延するっていうか。人と人の信頼関係が本当に信じられなくなっちゃったっていうか。何か他に言いたいことある？

小霜の娘さん：いや、特に。偉そうにしてすみませんでした。

小霜：いや、実態が見えたよね。

小霜の娘さん：私の学校特殊だから。他の公立に通ってる子に聞いたら違う答え返ってくると思う。

小霜：じゃあ、ありがとう。

一同：ありがとうございました！

小霜の娘さん：役に立ったのかな。

小霜：いやいや、これは知識のための糧になるからさ。人の本当の有様を知るっていうのが広告コミュニケーションの基礎だから。

小霜：はい、ということでいじめの課題はこれにて終了。でね、本当は先週で終わらせて残り3回あったらもう1課題できるかなって思ったんだけど、先週なくなってあと2回でもう1課題はきついかなくて思ったんだよね。

課題はやめようかな、と。それでねこないだ快気祝いで小西（POOL）に寿司を奢ってもらったんだけど、そのとき僕の部下になってえらい大変な目にあったという話をされて、その中にいい話もあってさ。精神論っぽいことだったりするんだけどさ、彼はクリエイティブで全然評価されないときに入ってきてそこから這い上がって今成功してるから。

この話、みんなに聞かせられないかなって思って。一回話してくれないかって聞いたらいいですよって承諾してもらえたので。次回、時間があるようなので来てもらおうかなと。

もしかしたらちょっとご飯つまみながら、聴く回に。

その次の最終回は今までの総括として、みんなに質問を持ってきてもらおうかな。

一人一つずつ。一番最初にやったよね。疑問を出して、みんなで話し合う。

疑問に対して仮説を立てる。もう一回やってみようかな、

一年経って君たちがどんな気持ちを持ってきてくれるのか。

一同：ありがとうございました。